

移植たまねぎの土壤窒素量に応じた適切な窒素分施

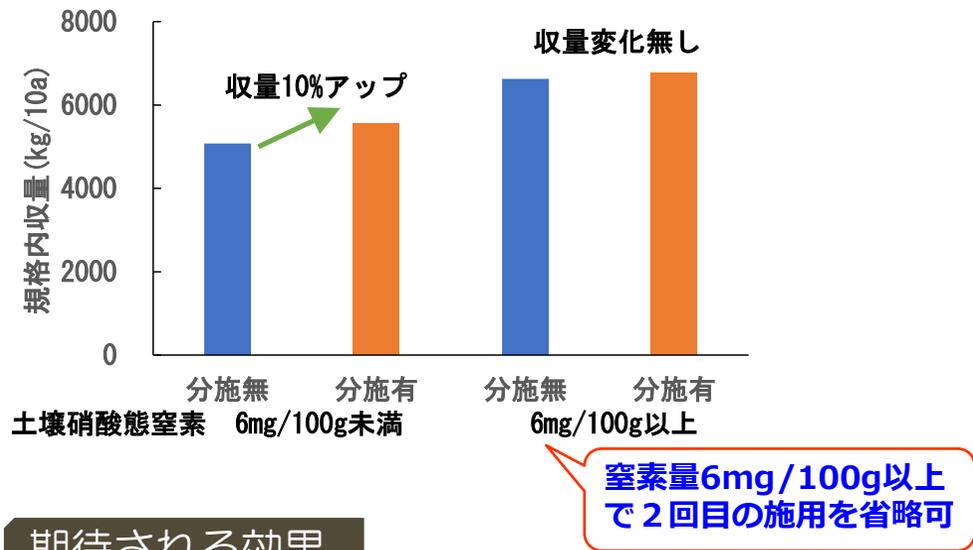
背景

分施（ぶんし）：作物の養分吸収特性を考慮し、肥料の一部を計画的に分けて施用する方法。
たまねぎでは1回目（移植時）に2/3、2回目（移植4週後）に残り1/3の肥料を施用。

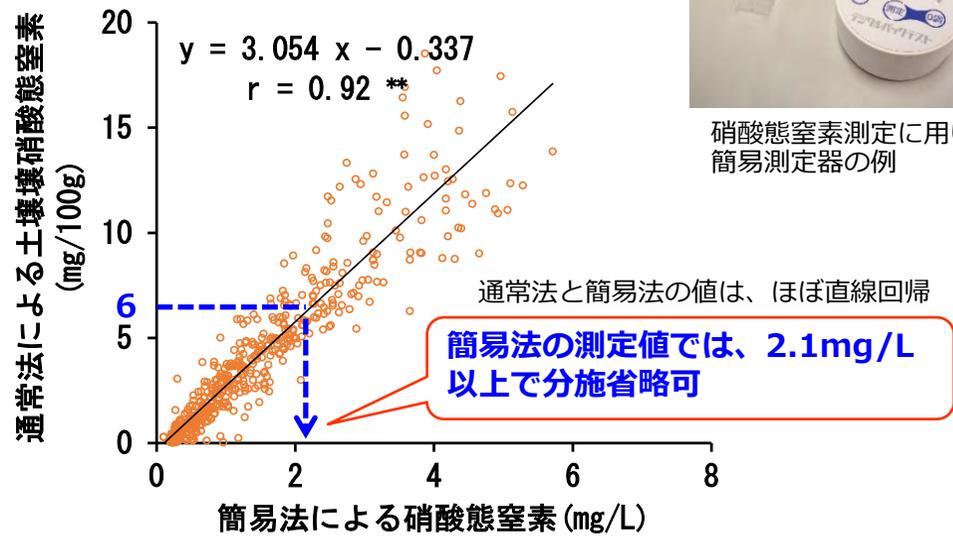
近年は分施でもたまねぎ畑の土壤窒素が過多の傾向にあり、環境負荷リスクが高まっている。

成果

1 分施有無の判断指標となる土壤窒素量



2 簡易測定法での指標値を特定



硝酸態窒素測定に用いた簡易測定器の例

期待される効果

窒素過多が懸念される移植たまねぎ畑において、環境負荷等低減のための窒素施肥法として活用する。